南部建設第９７号

平成２０年１０月１０日

国土交通省道路局長　殿

南部町長　工　藤　祐　直

今後の道路行政についての意見・提案の提出について（提出）

平成２０年９月１９日付け、国道企第３７号の標記（依頼）について、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①　道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

青森県南部町

本町では、狭小や急カーブ等により、緊急車両が通行できない、また、災害時には孤立してしまう地域がある等、まだまだ整備が欠かせない道路が少なからず存在する。

しかし、経済情勢が低迷する現在、こうした道路も財政的面から早急に整備するのは困難な状況である。

地域間を結ぶ高速交通機関の整備も当然必要であると考えるが、こうした地方の道路整備の実情を勘案した財政措置を講じてほしい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②－１　地域の現状と抱える課題

青森県南部町

○現状	○課題
本町の道路網は、国道２路線（４号、１０４号）、県道１５路線（主要地方道３路線、一般県道１２路線）、町道９６８路線、林道２０路線及び農道で構成され、町道総延長５９７，４７８ｍのうち、未改良・未舗装部分は約４３％となっている。	本町では、国・県を始めとする関係機関と連携し、計画的に道路整備を進めてきたが、交通量の増加などに伴い、便利な道路網、安心できる道路環境の整備が求められている。

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②－２　地域の目指すべき将来像

青森県南部町

平成１８年１月１日に、名川町、南部町、福地村が合併し、誕生した南部町は、これまで以上に地域の交流が盛んになっており、地域を結ぶ道路整備を早急に実施する必要がある。

また、国・県道と町道とのアクセス性の向上を図るなど、町民が快適な日常生活を送れるよう、町内道路網を計画的に整備するとともに、人と環境にやさしい道路・道路環境をつくっていく必要がある。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③　道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

青森県南部町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
交通安全施設の整備	南部町内を通る国道には、歩道が整備されていない箇所が数か所あり、児童・生徒を含み歩行者が通行に危険を感じている。	歩行者の安全が確保される。	
	右折する車両により渋滞する箇所が、現在整備中の２箇所を含め、４箇所ある。	渋滞が解消される。	
適正な道路管理の推進 (地域住民を巻き込んだ道路管理)	平成１９年４月から、町内の各自治会を中心とした町道清掃作業（除草、側溝の泥上げ）に対し、報償金を交付している。	地域住民が毎日のように利用する道路を、共同で清掃することにより、道路管理の重要性を認識してもらう。 また、町としても業者委託に比較し費用の軽減が図れる。	
適正な道路管理の推進 (人材の活用)	各町内会間を結ぶ町道は、自治会で清掃活動できないので、町民から作業員を募り、除草活動を実施している。	業者委託に比較し、費用の軽減が図られるほか、人材の活用にもつながっている。	